

日本風景街道

日本風景街道とは

住民、NPO、企業などが主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」に取り組む、それが「日本風景街道」です。



風景街道を構成する要素

日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

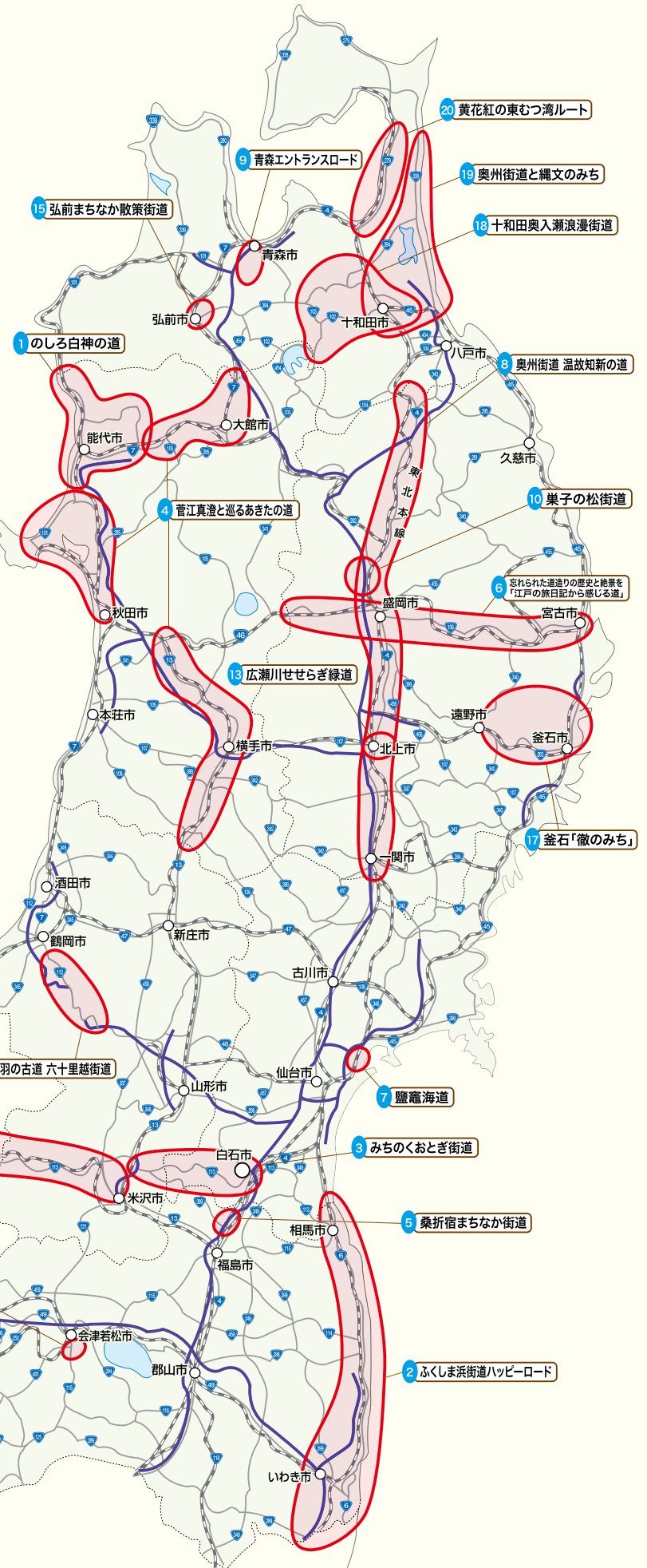


日本風景街道(東北ブロック)ルート図

東北ブロック 登録ルート

番号	風景街道名	風景街道パートナーシップ名	県名	道路延長
1	のしろ白神の道	のしろ白神ネットワーク	秋田	100km
2	ふくしま浜街道ハッピーロード	ハッピーロードネット	福島	145km
3	みちのおとぎ街道	国道113号観光推進協議会	宮城・山形	80km
4	菅江真澄と巡るあぎたの道	秋田のみち・文化再発見の会	秋田	195km
5	桑折宿まちなか街道	奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ	福島	9.5km
6	忘れられた道通りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」	秋田岩手風景街道づくり協議会	岩手	120km
7	鹽竈海道	鹽竈海道まちづくり研究会	宮城	1.0km
8	奥州街道 温故知新の道	奥州街道ネットワーク	岩手	185km
9	青森エントランスロード	青森エントランスロード 景観づくり推進会議	青森	15km
10	菓子の松街道	菓子の松街道パートナーシップ	岩手	6.0km
11	出羽の古道 六十里越街道	出羽の古道 六十里越街道会議	山形	30km
12	城下町あいづ道草街道	城下町あいづ道草街道推進協議会	福島	9.5km
13	広瀬川せせらぎ緑道	広瀬川まちづくり倶楽部	岩手	0.5km
14	日本海パークライン※	みちづくりパートナーシップ「日本海パークライン」	山形・新潟	61km
15	弘前まちなか散策街道	弘前市中心市街地活性化協議会	青森	5.4km
16	越後米沢街道・十三峠※	越後米沢街道・十三峠交流会	山形・新潟	71km
17	釜石「鉄のみち」	釜石鉄のみちネットワーク	岩手	57km
18	十和田奥入瀬浪漫街道	十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会	青森	120km
19	奥州街道と縄文のみち	奥州街道と縄文のみち運営協議会	青森	121km
20	黄た紅の東むつ湾ルート	黄た紅の東むつ湾ルート運営委員会	青森	37km

番号は申請順。※印は北陸ブロックに跨り登録されているルート



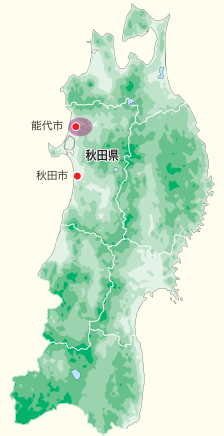
凡例

- 国道
- - - JR
- 高速道路
- 都道府県境界

のしる白神の道

日本風景街道

東北一第1号



■ ルート概要

「のしる白神の道」は秋田県北地域の国道7号や101号を中心とした総延長約100kmのルートです。このエリアでは、日本三大美林の秋田杉や黒松といった針葉樹や、世界遺産である白神山地のブナ林など四季折々に表情を変える広葉樹を多く目にすることができます。また、そうした自然景観ばかりでなく、市民に「木のまち」を身近に感じてもらえるような場を設けながら、新たな技術や研究成果を活用した「木の香る道」づくりも目指しています。

ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 白神山地の眺望



のしる白神の道ルートのランドマークの役割も果たす、世界自然遺産の白神山地と農村風景です。

観る 手這坂のかやぶき集落

住所：秋田県山本郡八峰町峰浜水沢手這坂



江戸時代の紀行家菅江真澄が桃源郷のようだと詠ったかやぶきの民家集落です。当時の風情を残す癒しの風景を楽しむことができます。

魅力向上の取り組み

● かやぶき屋根の修復



手這坂活用研究会とボランティアが、屋根のふき替えて汗を流しました。

遊ぶ 風の松原

住所：秋田県能代市後谷地国有林



江戸時代に植林された砂防林。南北延長14km、面積約760haの日本最大級の黒松林です。レクリエーションや憩いの場として親しまれています。



遊ぶ 毘沙門憩いの森公園

住所：秋田県能代市常盤字毘沙門127-2
問い合わせ先：TEL 0185-59-2120【毘沙門憩いの森公園(管理棟)】



毘沙門沼と山林に囲まれた美しい自然公園です。カヌー体験や木橋、ウッドチップ舗装など木を生かした公園づくりをしています。

観る 能代市中心部の黒松並木

住所：秋田県能代市仙遊長根地内



国道7号の沿線に延長約1.5kmにわたって約150本の黒松が植栽されており、日本一の長さを誇っています。

魅力向上の取り組み

● 黒松並木の剪定



能代バイパス黒松友の会が、のしる黒松街道内の黒松の剪定・管理をボランティアで実施しています。

● ウッドチップ歩道の施工



ウッドチップ及び木質平板ブロックを活用した歩道景観整備を実施し、市民参加型イベント「のしるまち灯り」では会場の一部として活用しています。

魅力向上の取り組み

● 「木の香る道」とまちづくりの推進



毘沙門憩いの森公園内では、ウッドチップ舗装道を歩きながら木橋や木製の流路工を見ることができます。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● のしる市民まちづくりフォーラム



ネットワークの活動紹介を含め、市民に広くまちづくり活動への賛同や参画を呼びかけるため、平成18年より毎年度末に開催しています。活動先進地から講師を招き、パネルディスカッションを実施。例年、約70人の市民・行政関係者が参加しています。

● 日吉神社中の申祭「嫁見祭り」への参加



祭りに賑わいをもたらすため、シーニックデッキやスギベンチを配置したり、スギ屋台での飲食物の販売等を行っています。

● 懇談会の開催

2か月に一度、関係団体が活動予定や課題などについて話し合いをしています。

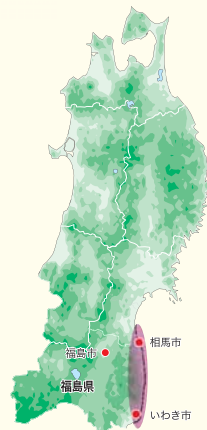
ふくしま浜街道ハッピーロード

日本風景街道

東北一第2号

■ ルート概要

ふくしま浜街道ハッピーロードは、福島県浜通地方の国道6号や常磐自動車道を含む総延長約230kmのルートです。このエリアは、東には太平洋を望み、南北60kmにおよぶ海岸線を有し、多様で美しい自然や温暖な気候、海・山・川の豊かな自然に恵まれており、「相馬野馬追祭」に代表される歴史・伝統文化や「陸前浜街道の松並木」などの地域資源もあります。また、未来のまち・地域づくりを目指し、人材づくりや景観づくりの推進活動等に関する事業を行い、美しい風景のなかで楽しく住みやすい地域社会の実現などに向けて様々な活動を行っています。



ルート沿線の地域資源のご紹介

観る 常磐道をつつむ 田園風景



夏には緑の中を、秋には黄金色になる田園風景に抱かれた常磐自動車道はきれいな里山風景です。

観る 浜街道の渚



国道6号沿いに広がる太平洋。夕焼けに染まる海や霧の風景も魅力的です。

魅力向上の取り組み

みんなでやっぺ!! きれいな6国 2009 (H21.9.19)



福島県双葉郡広野町から相馬郡新地町の国道6号で、相双地区の中学校、高校生、青年会議所、商工会議所、PTA、地域住民など総勢約2,000名が参加し、12地区で約40kmの区間にわたり、清掃活動を実施しました。

道路美化活動 (H21.10.31)



国道6号久保前交差点(双葉町)で約40名が参加し、花植えのボランティア活動を実施しました。信号待ちのドライバーへの憩いにもなっています。

観る 浜街道松並木



かつての陸前浜街道の面影が残っています。

観る 波立海岸

住所：福島県いわき市久之浜町田之網
問い合わせ先：TEL 0246-22-7477【いわき市観光物産課】



海上の弁天岩には対岸から朱塗りの橋が架けられています。日の出は美しく、初日の出は多くの人が訪れる絶景スポットです。

ルート全体の魅力向上の取り組み

ハッピーロードin南相馬 (H21.12.26)



未来を担う子供たちがまちづくりや地域づくりへの参画を促すことを目的にフォーラムを開催しました。相双地域に加え、千葉、茨城、宮城、岩手県から高校生にも参加していただき、ワークショップ、パネルディスカッションなどで意見交換し、交流を深めることができました。

地域資源調査



地元高校生と他県の高中生による現地調査を実施しました。普段、地元では気づかない地域の資源も他地域の住民から見るとすばらしい資源であることが再認識されました。

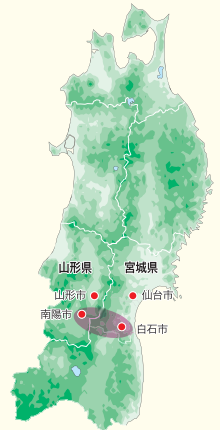
みちのくおとぎ街道

日本風景街道

東北一第3号

■ ルート概要

「みちのくおとぎ街道」は、国道113号の山形県南陽市から宮城県白石市までの二市二町を通る区間をルートとしています。このエリアは童話作家の誕生の地や民話「鶴の恩返し」発祥の地などを有する、数々の民話の宝庫です。また、雄大な自然資源に恵まれているほか、江戸の賑わいや昭和の面影が息づく歴史街道でもあります。はじめて通るのに“ふと懐かしくなる”みちのくおとぎ街道は、そんな忘れかけていた小さい頃の記憶を思い起こさせてくれる道でもあります。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

聴く 夕鶴の里

所在地：山形県南陽市漆山2025-2
お問い合わせ先：TEL 0238-47-5800(夕鶴の里)



民話をテーマとした資料館。語り部が話す民話を聞くことができます。

観る 白石城

所在地：宮城県白石市益岡町1-16
お問い合わせ先：TEL. 0224-22-1321(市商工観光課)



片倉氏が居城した城で、日本古来の建築様式に基づいて復元された木造三層櫓の天守閣からは市街が一望。

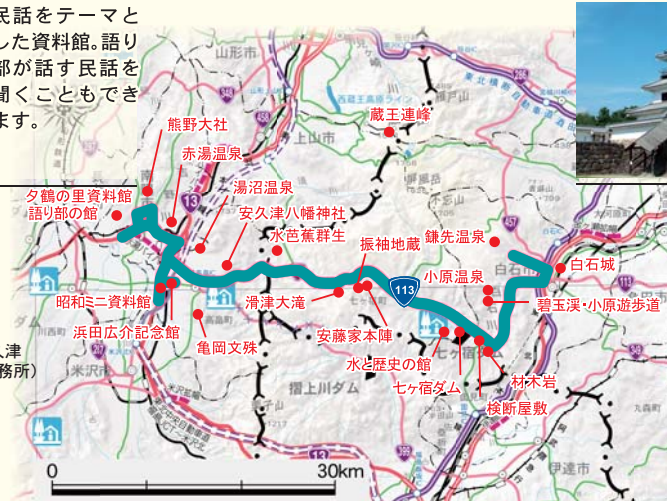
参拝する

あくつ 安久津八幡神社

所在地：山形県東置賜郡高畠町安久津
お問い合わせ先：0238-52-5990(社務所)



高畠町のシンボル。歴史公園内にあり、春～秋にかけてたくさんの家族連れで賑わっています。



観る 材木岩公園

所在地：白石市小原字上台
お問い合わせ先：TEL 0224-22-1321(市商工観光課)



高さ65m、幅100mにわたって大きな角材を立て並べたように巨岩が連なっています。

観る 浜田広介記念館

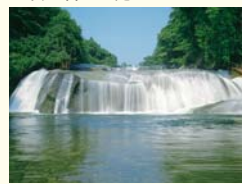
所在地：山形県東置賜郡高畠町大字一本柳2110
お問い合わせ先：TEL 0238-52-3838(記念館)



代表作「泣いた赤鬼」で知られる浜田広介は、郷土の生んだ童話作家です。直筆原稿など様々な展示があります。

観る 滑津大滝

所在地：宮城県刈田郡七ヶ宿町滑津
お問い合わせ先：TEL:0224-37-2177(町産業振興課)



高さ約10m、幅約30mという白石川上流部の名瀑で、その形状から「二段滝」とも呼ばれています。

おとぎ話いろいろ

- 鶴の恩返しの物語
- 泣いた赤おにの物語
- 振袖地蔵の物語
- 白石女敵討の物語 ... etc



ルート全体の魅力向上の取り組み

● 語り部の育成



語り部等の育成を目的に、講師を招いて研修会を実施。

● 「阿武急むかし話めぐり」視察



他の地域の活動を視察し、民話の語り部の能力向上を図っています。

● ピースポット調査の実施 (七ヶ宿町:おおわらじ)

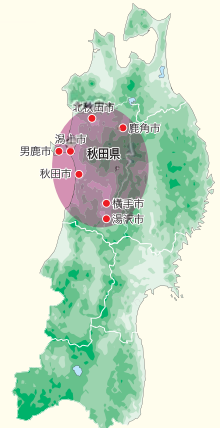


施設のアピール点と課題点を整理中。説明看板も必要かな？

菅江真澄と巡るあきたの道

■ ルート概要

「菅江真澄と巡るあきたの道」は、秋田県の羽州街道沿いとなる国道13号から国道7号、国道101号にかけての地域を対象としたルートです。江戸時代の紀行家・菅江真澄は、この地域の自然や民俗などの図絵を描いており、それらを参考に200年前と現在の景観を比べたり、当時の暮らしぶりに思いをはせたりすることが可能です。このような資料を観光振興や地域活性化に活用することをテーマに活動を展開しており、新たな観光ルートの構築や観光スタイルの提案を目指しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 男鹿国定公園



海、山、温泉、食べ物のほか、歴史民俗や地質なども興味深い半島です。

学習する 菅江真澄の足跡・筏の大杉



樹齢1000年以上といわれ、菅江真澄がこの地を訪れた時も「平鹿郡内第一の大樹なり」と記録しています。

観る 六郷湧水群



町の中心には60か所以上の清水があり、散歩しながら名水巡りができます。

食べる 発酵食



漬け物、日本酒、魚醤など各地に独自の発酵食が残っています。発酵食レストランや工場見学は観光客に人気です。

学習する 羽州街道



藩政時代の参勤交代や庶民の道として整備された街道沿いには、久保田城や神社仏閣、一里塚などの史跡が数多く残っています。

学習する なまはげ



場所：秋田県男鹿市

大晦日の夜に行われる男鹿の民俗行事で、菅江真澄もこの行事を記録しています。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● モニターツアー実施



菅江真澄の足跡をたどりながら地域の歴史資源を活かした観光活性化に取り組んでいます。

● 菅江真澄の足跡・写真コンテスト



200年前に描かれた菅江真澄の絵画をテーマとしたコンテストや写真展を実施し、観光スポットの紹介に役立っています。

● 道の駅ボランティアガイド



秋田県内の「道の駅」でパネル展示や、観光シーズンにボランティアガイドが見どころ紹介や道案内をしています。

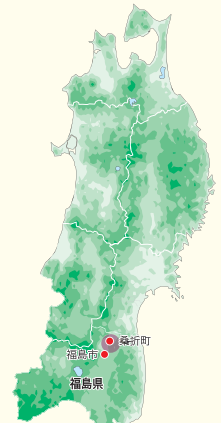
桑折宿まちなか街道

日本風景街道

東北一第5号

■ ルート概要

「桑折宿まちなか街道」は福島県の中通り県北地域の県道国見・福島線及び町道4004線などを含む総延長約5kmのルートです。このエリアは、仙台藩伊達氏発祥の地として知られ、奥州街道・羽州街道の分岐点(追分)の宿場町として繁栄し、近代においては伊達郡役所を有する政治や蚕種生産の中心地として栄えてきました。半田銀山跡、旧伊達郡役所、追分、寺社群、蔵の町並みなどの地域資源が残されており、また、歴史的な資産を活用した魅力と活力のある地域づくりを目的に、街道を活かしたまちづくりを推進しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 旧伊達郡役所

住所：福島県伊達郡桑折町字陣屋1-2
問い合わせ先：TEL 024-582-5507【桑折町文化記念館】

総二階建てで、塔屋を頂く大規模な擬洋風建築様式の建物で、昭和52年6月国指定重要文化財に指定されています。



観る 阿武隈川周辺の桃畑

住所：福島県伊達郡桑折町大字伊達崎字大畑向地内

約120haにも及ぶ桃園。4月中旬には、桃の花が一斉に開花し、まさに桃源郷のような景観を醸し出してくれます。



観る 無能寺・御蔭廼松

住所：福島県伊達郡桑折町字上町4
問い合わせ先：TEL 024-582-3129【桑折町生涯学習課】

嘉永年間に無能上人が再興した寺院。境内にある「御蔭廼松」は、明治天皇が御巡幸の際に命名。樹齢450年と言われています。



もてなし 桑折御蔵

住所：福島県伊達郡桑折町字北町7-1
問い合わせ先：TEL 024-582-6007【桑折御蔵】

明治時代に建てられた蔵を改装して作った、町民や来町する方々へ情報を発信するアンテナショップです。



観る 桑折寺山門

住所：福島県伊達郡桑折町字新町3-2
問い合わせ先：TEL 024-582-3129【桑折町生涯学習課】

伊達氏十五代晴宗が米沢城に移る際に伊達氏の居城であった西山城から移築されたものと伝わっています。



魅力向上の取り組み

おもてなし処・観光案内の場として、女性がボランティアで運営しています。「桑折さんちのだんご汁」がおいしいです。



観る 奥州・羽州街道追分

住所：福島県伊達郡桑折町谷地字追分1
問い合わせ先：TEL 024-582-3129【桑折町生涯学習課】

復元整備により、道標と東屋、江戸期に現存した道標などが設置され、当時の様子を思い描くことができます。



魅力向上の取り組み

●「桑折宿」奥州・羽州街道まつり

奥州街道と羽州街道の分岐にある宿場町として栄えた桑折宿。歴史的背景をテーマに、街道沿線各地の名産品PRなどのイベントを実施しています。



ルート全体の魅力向上の取り組み

● 街道を活かしたまちづくりフォーラム



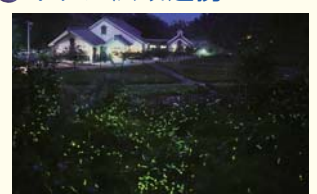
歩いて楽しめる賑わいのあるまちづくりを進めるため、フォーラムを開催しました。街道の街並み・賑わいづくり、高島町・七ヶ宿町との交流によるまちづくりなどの報告や公園が行われました。

● 第1回奥の細道ウォーキング



H22年度に土木学会選奨土木遺産となった「西根堰」は、松尾芭蕉が歩いた奥の細道でもあり、これを活かした事業展開を実施するため、地元観光協会と合同で地域資源・歴史的資源の発掘を行いました。

● ホタル広域連携



桑折町はゲンジボタルの名所で、街道で繋がりが同じくホタルの名所である宮城県七ヶ宿町・山形県高島町と連携し、魅力的な観光資源の創出に取り組んでいます。

忘れられた道造りの歴史と絶景を 「江戸の旅日記から感じる道」

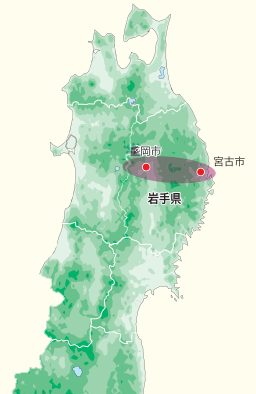
日本風景街道

東北一第6号

■ ルート概要

このルートはかつて秋田街道が通っていた岩手県雫石町から盛岡市までの国道46号と、ほぼ宮古街道と重なる盛岡市から宮古市までの国道106号間で、約130kmあります。ここは道路沿線に残る美しい自然や歴史的な遺産、豊かな食文化に出会えるエリアです。

このエリアを200年前の旅芸人の日記を道案内人として歩き、旧道・旧街道の復活再生・地域資源の活用・道の駅との活用と連携を目指します。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 秋田藩と盛岡藩の藩境に立つ碑 (1800年代に立てられた)



道の駅「雫石あねっこ」を中心に秋田街道の痕跡がよく残り、国見温泉などの温泉や季節の食菜を求めて沢山の人が訪れています。

歩く 霊山・兜明神岳と兜神社 (標高1005m)



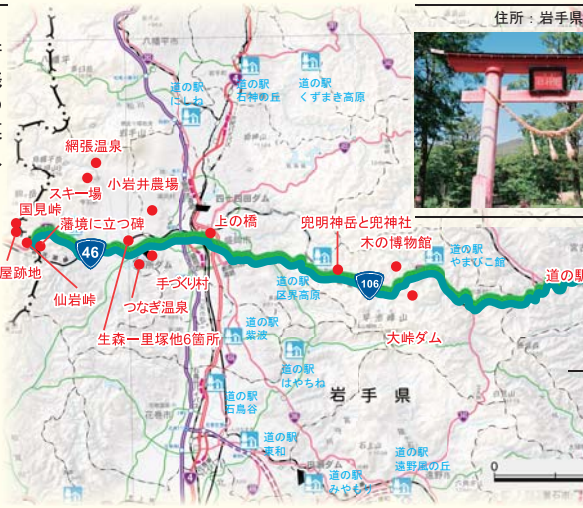
道の駅「区界高原」近くの早池峰山をのぞむ風光明媚な場所にあり、多くの方がウォーキングを楽しんでいます。

魅力向上の取り組み

「関所の里 橋場」再生運動の展開



地域資源を活かし、歴史をめぐる新しい旅のテーマを提供するための運動を展開しています。



観る 大峠ダムとJR山田線



道の駅「やまびこ館」付近の観光スポットであり、春の若葉・秋の紅葉とダムの間をJR山田線が走り抜けます。

体験する 小岩井農場 (小岩井農場一本桜)

住所：岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1
問い合わせ先：TEL 019-692-4321



日本最大級の民間総合農場で、場内には旧街道が通っており、一本桜などの見所が沢山ある空間として訪れる人々を癒しています。

感じる 盛岡市内「上の橋」風景 (欄干の擬宝珠は国の重要美術品)

住所：岩手県盛岡市上の橋



秋田街道・宮古街道など脇街道の起点となっていた盛岡市内では、当時の盛岡藩の城下町の雰囲気を感じることができます。

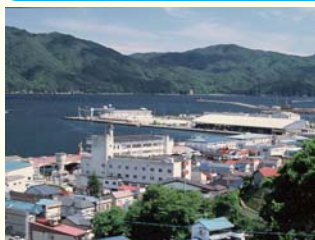
魅力向上の取り組み

● 探訪会の実施



地域資源を活かし、歴史をめぐる新しい旅のテーマを提供するための運動を展開しています。

ルート全体の魅力向上の取り組み



● 宮古、明日へ

2011年3月11日の東日本大震災でこのルートの一部を構成していた宮古市の鯉ヶ崎地区は甚大な被害を受け消失しました。鯉ヶ崎地区は旅芸人が長期に滞在し、当時の食や生活の記録を残した場所で、現在でも当時の雰囲気を感じることが出来ます。

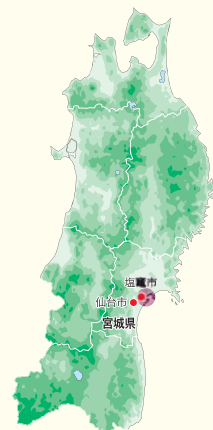
『宮古』は慶長16年(1611年)の津波で宮古村がすべて流失後に、元和元年(1615年)藩主 南部利直による新しい都市計画のもとに作られた沿岸の主要な街です。そして、その後宮古は繰り返される津波にも負けず、発展し続けてきた歴史を持つ街でもあります。

秋田岩手風景街道づくり協議会では、再び復興へ動き出した宮古のみなさんと一緒に、新たな魅力あるエリアとして『宮古』のまちづくりに取り組んでいきます

鹽竈海道

日本風景街道

東北一第7号



■ ルート概要

「鹽竈海道」は、主要地方道塩釜・吉岡線を中心となる道路とし、鹽竈市の中央部に位置する都市計画道路 北浜沢乙線の一部で総延長約1.0kmのルートです。当該ルートは2つの丘陵地に挟まれた谷状の地に位置し、鹽竈神社を背に抱え、祭りの際には神輿の通る道となっています。地域資源としては、鹽竈神社、造り酒屋、鹽竈櫻などがあり、「海と社を結ぶ歴史的参道空間整備」をテーマとした活動を展開しており、住民が住みよい歴史の感じられるまちづくりを目指しています。

ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

参拝する 鹽竈神社

所在地：宮城県塩竈市一森山



古くから東北鎮護、陸奥国一宮と称され、海上安全等の神として信仰を集め、国の重要文化財に指定されています。

鹽竈海道



歩く 古い建物と調和した歩道



古くからの建築物と調和するように、門前町を意識した石畳風の歩道を整備しています。

買う

造り酒屋

所在地：塩竈市本町、西町



享保初年(1716年)より歴史がある塩竈の酒造り。現在では2社が製造するのみですがその名は全国的に有名です。

観る 古くからの建物



地区には石蔵などの歴史を感じさせる建物が点在しています。

歩く 屏風型モニュメント



塩竈を舞台にした「伊勢物語」などを屏風型のモニュメントで展示し、歴史を感じられる歩道空間としています。

魅力向上の取り組み

● 美化活動



清掃活動や植栽の手入れを住民自らが実施しています。

観る 鹽竈櫻(市の木)

所在地：宮城県塩竈市一森山



記録では8百年前の堀河天皇が歌に詠まれた名木。昭和38年に枯損したが、親木から接木して現存し、国の天然記念物指定を受けています。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● OPEN SAKE(試飲会)の開催



鹽竈神社の祭典に合わせて、来訪者にお酒を振舞いました。

● 憩いの空間整備



お祭りの日に野点傘と木製ベンチを設置し、おもてなし空間を演出しています。

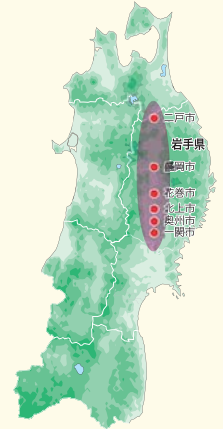
奥州街道 温故知新の道

日本風景街道

東北一第8号

■ ルート概要

奥州街道は、江戸日本橋を起点とする近世の五街道の一つで、青森県の三厩まで続く日本最長の街道でした。「奥州街道温故知新の道」は、このうち岩手県内の奥州街道・現在の国道4号沿線の街道沿いを活動範囲に、奥州街道会議と、沿線市町村の地域、民間団体、行政が連携しながら、取り組んでいます。街道に刻まれた歴史と、その周辺の史跡や食・文化、風景といった資源を掘り起こし、街道景観を活かした地域づくりを行いながら、地域をつないでいきます。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 岩手・宮城県境の奥州街道



有壁宿(宮城県栗原市)から鬼死骸(一関市)へ。鬼死骸という地名は、坂上田村麻呂の伝承に由来する。(岩手県一関市)

観る 盛岡市鉦屋町



古い町並みなど城下町らしい雰囲気漂う鉦屋町。宮古街道、遠野街道もここから始まっている。(岩手県盛岡市)

観る 城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区



住所：岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根城内・諏訪小路地区

奥州街道114箇所の宿場のうち、唯一の伝建群に指定されており、現在はガイドの案内で観て回ることができる。

観る 浪打峠



歌枕の「末の松山」とも言われる峠。現在は地元の保存会も維持管理を行っている。

観る 成田一里塚



住所：岩手県北上市成田第28地割73

東西の塚がほぼ原形をとどめ、南側の二子一里塚とともに、県指定史跡となっている。

観る 男神岩・女神岩



住所：岩手県二戸市石切所

長い間の浸食によって作られ、全国でも稀な大きさ。四季の景観も見ごたえがあり、奥州街道から分かれる浄法寺街道は、この下を通っていた。

魅力向上の取り組み

● 地域資源の調査



地域内外から参加者が集まり、魅力的な場所・物・風景、そして人を掘り起こします。(写真は、盛岡市・紺屋町)

● 街道ツアー・探訪会



県内各地の街道を訪ね歩きます。(写真は、地元の方と刈払いをした青森との県境、二戸市・養ヶ坂)

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 「道しるべ」の設置



街道歩きに訪れる旅行者のために、手作りの看板(道しるべ)を設置。奥州街道全線への設置を目標に地域団体と協力し、毎年設置箇所を広げています。



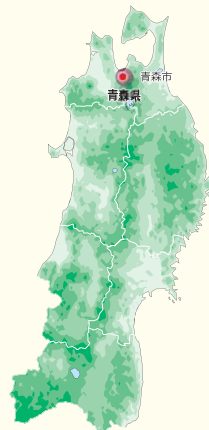
青森エントランスロード

日本風景街道

東北一第9号

■ ルート概要

「青森エントランスロード」は青森県青森市の主要地方道青森浪岡線や青森荒川停車場線を含む青森空港から青い海公園に至る総延長約13kmの青森県を代表する県の顔となるルートです。このルートからは八甲田連峰の山々や青森平野の田園風景、陸奥湾など美しい景観を眺望できます。地域の人々が「誇り」を持ち、訪れる人々に「青森らしさ」を感じさせる「県の顔」となる景観づくりを目指しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 丘陵ゾーン



緑豊かな丘陵地の景観を主体としています。八甲田連峰や陸奥湾、青森市街までの広がりのある景色など優れた景観資源を眺望できる箇所が多く存在します。



観る 田園ゾーン



田園景観を主体としています。沿道に建築物がないため、広々とした田園景観を前景として市街地まで眺望できます。

観る 中心市街地ゾーン



青森市中心部の発達した市街地景観が形成されており、道路の景観も整備されています。青森港や青い海公園等のウォーターフロントを眺望できます。

観る 郊外型市街地ゾーン



住宅やロードサイドショップが景観の主体であり、用途や規模が異なる様々な建築物が混在しています。

魅力向上の取り組み

● 休憩スペースの提供



ねぶた祭りを観ながら休憩できるスペースを提供しました。大好評です！

● イルミネーションの設置



イルミネーション・街灯・まち灯りのコラボが完成！通りを鮮やかに彩ります。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 協働による清掃活動



沿道住民・事業者・行政など協働による清掃・花卉植栽やまち歩きを行っています。

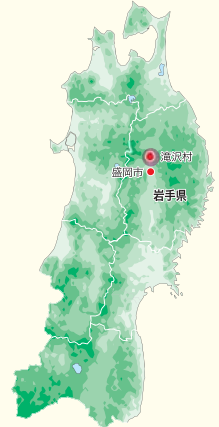
すご 巢子の松街道

日本風景街道

東北一第10号

■ ルート概要

岩手県盛岡市厨川の茨島陸橋から滝沢村分岐にかけて、国道4号に沿って延長3.6kmの林立する並木が日本風景街道「巢子の松街道」です。百年以上を経た並木には、250種以上の樹木や草本が混生し、リスやノウサギなど多くの生きものたちも生息しています。江戸時代は鹿角街道と呼ばれ岩手と秋田を結ぶ主要街道であり、当時の一里塚など歴史的遺物も残されています。交通量が多い基幹国道に隣接していても豊かな景観や生態系が保たれてきたことを大切に、優れた環境をうみ出している松街道を守り引き継いでゆくための活動に取り組んでいます。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

眺める

雄大な岩手山と牧草地



雄大な岩手山



松街道

最大の魅力は3.6kmも続く美しい景観。松並木と牧草地と岩手山がみごとに調和しています。春にはサクラやコブシが松街道を彩ります。

魅力向上の取り組み

● 点検路・ビューポイント標識の設置



(写真は、点検路手入れ作業)

散歩道に利用されている点検道を手入れしています。

観る

静かに眠る菊塚一里塚



周辺には一里塚などの遺跡も残っています。



気づく 珍しい野草たち



ヤマユリ



オニノヤガラ<ラン>

並木の中には今では珍しくなったヤマユリやオニノヤガラ(ラン)などの野草が保全されています。

魅力向上の取り組み

● 並木の調査・観察



(写真は、並木の生きもの調査)

子どもや学生も参加し、リスやネズミの食べ跡を調べています。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 並木を守っています



定期的に危険木の点検処理を行い、空き地には樹木を植えています。

(写真は、マツノザイセンチュウ病抵抗性のアカマツ苗の植樹作業)

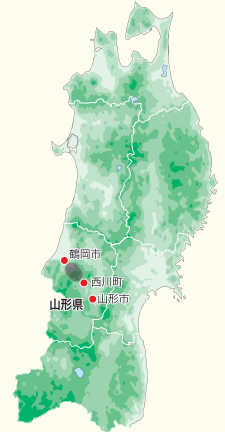
出羽の古道 六十里越街道

日本風景街道

東北一第11号

■ ルート概要

鶴岡市から湯殿山南側を通り、山形市へと続く「六十里越街道」は、出羽三山(月山、湯殿山、羽黒山)への信仰の道といわれ、庄内藩主の参勤交代路としても利用されていた古道です。かつて宿場町として栄えた田麦侯には、茅葺き屋根の多層民家が今も往時の姿をみせています。千二百年の歴史と共に自然の移り変わりを楽しみ、古の人々の「ゆどの参り」への想いを体感できるトレッキングイベントを多数開催しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 大堀抜(おほのぎ)



尾根筋近くを切り通しの道に掘りぬいた区間で快適な緑のトンネルが楽しめる。「ほのぎ」は「ほりぬぎ」が訛ったもの。

観る 千手ブナ



街道のシンボルの樹齢約400年のブナの大木。張り出した無数の枝がまるで千手観音のよう。



観る 田麦侯多層民家

住所: 山形県鶴岡市田麦侯地内
連絡先: 0235-53-2111 (鶴岡市役所朝日庁舎 教育課)



鶴岡市田麦侯に見られる兜造り多層民家の代表的なもので、昭和49年4月、山形県有形文化財の指定を受けた市有建造物です。

魅力向上の取り組み

● 六十里越街道まつり



毎年5月の中旬に、田麦侯多層民家の前において、その年のトレッキングの安全祈願を兼ねて開催します。当日は「雪椿トレッキング」や地元野菜の販売、郷土芸能の発表など、雪解けの中、大勢の参加者が早春の田麦侯でふれあいます。

魅力向上の取り組み

● 山岳トイレの整備



千手ブナ及び細越峠周辺に二箇所に、自然保護に配慮したバイオトイレを整備し訪れるトレッカーの利便に供しています。

観る 護摩壇石



1200年の歴史を誇る街道には、弘法大師の様々な伝説が残る。この石の上で「護摩祈禱」を行ったとされる。

観る 花ノ木坂



ブナ林と雪椿の群生地の街道で一番人気の坂道。花ノ木とは「紅葉」のことを指す。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● とうほく街道会議の開催



西川町「弓張平公園」パークプラザを主会場に、第6回出羽の古道六十里越街道大会を開催。基調講演、パネルディスカッション、街道談義、街道探訪会など、多数の参加の下、盛大に開催されました。

● 六十里越街道フォーラム



街道関係者が一同に集い、地域振興・文化振興につなげるための意見交換を展開しています。

● 街道整備作業



毎年ハイシーズン前に、街道ボランティアの皆さんが木階段や埋もれている史跡の発掘に参加し、街道の魅力向上に貢献しています。

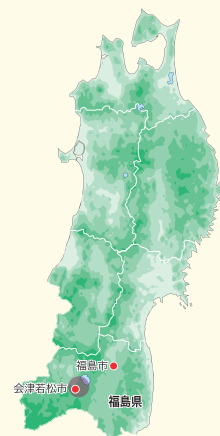
城下町あいづ道草街道

日本風景街道

東北一第12号

■ ルート概要

城下町あいづ道草街道は、23万石の城下町、福島県会津若松市の鶴ヶ城を核として、古い町並み景観を見せる七日町通りや野口英世青春通り、歴代藩主の墓所や白虎隊の墓など「サムライ」の面影を漂わすいにしえ夢街道などをカバーしたルートです。ゆったりと歩いて城下町の風情を発見できるシーニックバイウエイの創出を目的としており、町並み景観の整備や案内板の設置といったハード整備とともに、イベントなどのソフト事業を展開し、賑わいの創出を図り、通りの連続性や回遊性を高めることを目指しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 会津藩主松平家墓所



初代保科正之が嗣子正頼の墓を造営したのが始まりで、以後二代正経から九代松平容保までの歴代藩主の墓が立ち並ぶ荘厳な墓所です。

泊まる 東山温泉



湯川の溪流に沿って21軒の旅館ホテルが立ち並ぶ情緒たっぷりの温泉街で、竹下夢二や与謝野晶子など多くの文人墨客が愛しました。

歩く 七日町通り



毎月7の付く日に市が立ったので名付けられた町で、城下の西の玄関口として賑わいを見せていました。昔ながらの町並みが魅力的です。

体験する 伝統工芸



会津慶山焼の手びねりや会津漆器の蒔絵、赤ペコ、起き上がり小法師、会津絵ろうそくの絵付けなど伝統工芸品作りに挑戦するのも楽しみです。

祈る 白虎隊士の墓



戊辰戦争の際に会津藩士の子弟で組織した少年隊。砲火に包まれた城下を見て、絶望して自刃しました。墓は飯盛山の中腹にあります。

学習する 鶴ヶ城



五層の天守閣は戊辰戦争後、明治政府の命令で取り壊されましたが、昭和40年に再建。会津を代表する観光資源です。

魅力向上の取り組み



● 会津新撰組まつり

七日町の阿弥陀寺にある新撰組三番隊組長斎藤一の墓前際に兼ねたイベントで、全国の新撰組ファンが集まります。斎藤一の墓前で居合いの演舞が行われます。また、同時開催として七日町フェスタも行われ、七日町市民広場とレンガ通りでみんなで楽しめる多彩なイベントが催されます。

魅力向上の取り組み

● 清掃散策会



毎年春と秋にいにしえ夢街道協議会が中心となって実施。ぜひ参加してみてください。

ルート全体の魅力向上の取り組み



● 会津五街道シンポジウム

歴史街道を連携の軸とし、地域活性化の可能性を探るため、会津五街道シンポジウムを開催しました。五街道に光をあて、街道を生かした街づくりのあり方などの基調講演や、五街道それぞれで街道を中心とした街づくりをしている団体より街道の歴史的意義や今後の交流のあり方などについて意見を交換しました。

広瀬川せせらぎ緑道

日本風景街道

東北一第13号

■ ルート概要

広瀬川せせらぎ緑道は岩手県北上市の市道2001019号北上駅鍛冶町線を中心とした広瀬川周辺を含むルートです。この周辺は夜のにぎわいととも、新たな都市観光の拠点となる十字路商店街や飲食店など、街の中心地区となっています。他に展勝地の景観や詩歌の森公園などの交流資源があります。

また、広瀬川を活かしたまちづくり活動を通して、協働による中心市街地の活性化と景観づくりに資することを目指しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

遊ぶ 詩歌の森公園

住所：岩手県北上市本石町2丁目



詩歌の森公園は、子どもたちの広場や日本現代文学館、市立図書館が隣接して市民に広く親しまれています。



観る 展勝地周辺

住所：岩手県北上市立花 北上市立公園



景観資源である展勝地周辺には、陣ヶ丘から眺めるさくら並木、みちのく民俗村、北上夜曲碑もあり観光の名所となっております。

遊ぶ 広瀬川の水源地



広瀬川せせらぎ緑道一角には、公園と水遊びができる水源地があり、夏には子どもたちの水遊びの場となっています。

食べる 万世橋

住所：岩手県北上市諏訪町



この万世橋界隈は飲食店が立ち並ぶ夜の賑わいの中心であり、夜の待ち合わせ場所として親しまれています。

魅力向上の取り組み

イベント開催



4月から12月までの、毎月5のつく日に「よってげ市」を開催しています。

よってげ市



大道芸や、5月から10月まで毎週土曜日18:00から野外ライブの開催を行っています。

魅力向上の取り組み

● 広瀬川せせらぎ緑道の清掃活動



毎月1回、地域住民、店舗従業員などにより清掃活動を行っています。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● フォーラム等の開催

フォーラムの開催や先進地学習会、まちづくりセミナーといった活動を通じて、「広瀬川まちづくり倶楽部」と地域住民が協働しながら今後の地域づくり計画を検討しています。



日本海パークライン

日本風景街道

東北一第14号

■ ルート概要

「日本海パークライン」は、山形県鶴岡市温海地域～新潟県村上市までの海岸線の道路を中心としたエリアで、地域内の連携と観光資源の掘り起こし、観光誘致の他、自然、歴史、文化、温泉といった魅力を発信し、植生や町並みを生かした地域づくり・まちづくりに取り組んでいます。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

泊まる あつみ温泉

住所：山形県鶴岡市



海・山・川の自然に恵まれた開湯1千年の歴史をもつ東北屈指の名湯です。街は、温海岳の山麓に抱かれ、清流温海川沿いの静かな環境の中にあり、古くから文人墨客が訪れ、歌碑などが多くあります。

魅力向上の取り組み

● 魅力的なみちづくりの取り組み



歩道と車道の段差をなくし、2車線を一方通行に変更しています。また、車道を蛇行させ、道路内に休憩施設を設けることで、車のスピードを抑制し、温泉客や住民が安心してそぞろ歩きを楽しめるようになりました。



観る 村上の町屋

住所：新潟県村上市



新潟県北部の中心地として栄えてきた城下町、村上市。その面影は、曲がりくねった路地や昔ながらの町名にも色濃く残っています。また、四季折々の味覚も魅力で、中でも秋の鮭料理は絶品。

魅力向上の取り組み

● 散策地づくりの取り組み ～与謝野晶子歌碑の設置～



瀬波温泉を訪れた歌人・与謝野晶子が詠んだ歌の歌碑が、シロアリなどの被害で傷んだため、歌碑の再建を実施しました。

泊まる 瀬波温泉

住所：新潟県村上市



日本海的情绪あふれる景観に加え「瀬波温泉」は村上地方の旅の拠点としても有名です。また、四季折々の味覚も魅力で、中でも「地酒」や「村上牛」、秋の「鮭料理」は絶品。

観る 笹川流れ

住所：新潟県村上市



見事な景観を誇る延長11kmの笹川流れ。海水浴をはじめ、釣りやキャンプ、そして遊歩道を散策したりお楽しみメニューがいっぱい。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 村上クリーン作戦



観光客などが多く訪れる、花見やゴールデンウィークの前に「観光地クリーン作戦」を実施しています。

● 地域おこしの取り組み

～笹川流れの民宿活性化～



講師を招いた勉強会や、地域資源を活かした「お散歩マップ」の作成等を行いました。

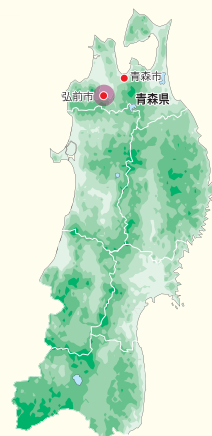
弘前まちなか散策街道

日本風景街道

東北一第15号

■ ルート概要

全国の地方都市で社会問題となっている「中心市街地の空洞化」は弘前市でも大きな課題となっています。その社会問題を解決すべく、弘前市では平成20年7月に中心市街地活性化計画の認定を内閣府から受け、歩いて回るまちづくりを推進しております。「弘前まちなか散策街道」は、市民及び観光客が市街地を歩いて回遊する街道として、風景街道の登録認定を受ける事が出来ました。



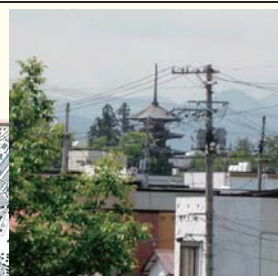
ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 街道からの岩木山の眺望



岩木山は1625mの火山で、はっきりと美しい稜線から「津軽富士」と呼ばれ、郷土の誇りとなっています。

観る 蓬萊橋からの五重塔



1667年に完成した最勝院五重塔は重要文化財であり、蓬萊橋から見える五重塔は「小京都」の風情があります。

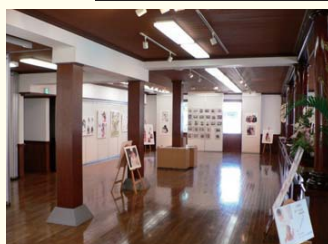
観る 日本聖公会弘前昇天教会



1929年完成のゴシック様式の赤レンガ造りの教会。独特の外観の他、朝夕の礼拝の鐘の音も市民に親しまれています。



観る ギャラリー散策ができるまちなか



市中心部は無料ギャラリーが多く、ギャラリーネットワークという団体が連携事業を行っています。

(写真: 百石町展示館)

観る 弘前公園のさくら



例年4月中旬に咲き誇る約2600本のさくら。外堀の水面に映る枝垂れ桜は日本のさくらまつりに相応しい光景です。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 弘前まちなか散策街道の歩道融雪化



青森県及び弘前市では、市街地の歩道の融雪化を積極的に実施しております。今年中には中土手町街区の歩道融雪工事が完成し、弘前まちなか散策街道の8割の歩道が降雪時でも歩きやすい歩道となります。

● 路上イベントの開催

(写真: よさこい津軽)



弘前市民は「みち」に親しみを持ち、弘前ねぶた祭りやよさこい津軽など、多くの路上イベントを開催し、賑わいを創出しています。

● 統一フラッグの掲示



弘前まちなか散策街道では、来訪者を歓迎することを目的として、400本の統一フラッグを掲示し、景観を向上させています。

越後米沢街道・十三峠

日本風景街道

東北一第16号

■ ルート概要

「越後米沢街道」は山形県置賜地方から新潟県下越地方に通じる約70kmの旧街道です。明治17年に現在の国道113号が完成するまで約360年もの間、物流のための貴重な街道として使用されました。沿線は中山間地の街道で、この中に13の峠が存することから「十三峠」と呼ばれるようになりました。その中でも「黒沢峠」は敷石道が有名で、当時の歴史や文化を想像させてくれます。多くの峠で趣向を凝らしたイベントが開催されています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 赤芝峠



秋の紅葉の名所、磐梯朝日国立公園に属する荒川峡の中で、最も紅葉が美しいとされる渓谷。遊歩道が整備されている。

観る イザベラの道



明治11年イギリスの女性旅行家イザベラ・バードが「日本のアルカディア」と表現した景観がある。



歩く 黒沢峠の敷石道



いにしへの往来を偲ばせる敷石道は、地元の保存会により整備・保存され、訪れる町民や観光客に親しまれています。

魅力向上の取り組み

● 黒沢峠まつり



毎年10月にウォーキングと交流会が開催されます。黒沢峠まつりは、黒沢集落の人々が先人の残してくれた遺産を一人でも多くの人に知ってもらおうとはじめたものです。紅葉のトンネルが続く敷石道の峠を越えてからの鉄板焼きや地酒がまた格別です。



体験 健康の森横根



施設内にはバンガローや交流棟があり宿泊が可能。広大なブナの森には遊歩道があり、トレッキングや森林浴が体験できる。十三峠のひとつ「朴ノ木峠」には敷石も残っている。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 萱野峠敷石掘り体験



ほぼ峠の全線に敷石が。毎年2回敷石掘りイベントが開催される。

● 宇津峠歩こう会



最大の難所だった宇津峠、石柱などの史跡が多いのも特徴。

観る 玉川渓谷



沿線の自然は訪れる人を魅了する。その中でも最もきれいな玉川渓谷、萱野峠と大里峠の間にある。

釜石「鉄のみち」

日本風景街道

東北—第17号

■ ルート概要

「釜石鉄のみち」は、国道283号仙人峠から国道45号を經由し釜石遠野線笛吹峠までの近代製鉄遺跡を主とするルートです。その活動主体は、いわて街道交流会、釜石市、国土交通省三陸国道事務所、沿岸広域振興局による「釜石鉄のみちネットワーク」となっており、地域の方々とともに釜石の近代製鉄の産業遺産を活用して、道を基軸とした地域活性化、観光振興を推進する活動を行っています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 栗橋分工場山神社



釜石鉱山田中製鉄所栗橋分工場跡の傍らにひっそりとたつ神社。

観る 岩手軽便鉄道跡



岩手軽便鉄道の終点となる仙人峠駅の跡です。現在は、古いコンクリート擁壁だけが当時をそのばせます。

観る 橋野高炉跡



幕末の西洋技術の導入を物語る、製鉄炉跡です。ユネスコ世界遺産登録を目指す近代製鉄発祥の地です。

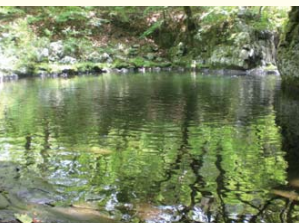


観る 釜石鉱山(選鉱場跡)



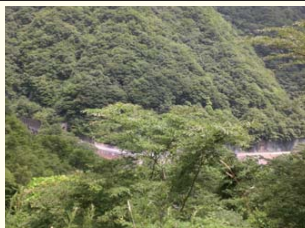
日本最大の鉄鉱山で、選鉱場跡は、壮大な産業遺跡であり、巨大なオブジェのようでもあります。

観る 瀧澤神社奥の院



釜石市指定文化財のうち、名勝第1号です。お堂の下は、鬱蒼とした木々で覆われた大きな岩で形成され、沢松川の清流が流れ込む深い淵が広がる、幻想的な空間となっています。

観る 仙人峠



釜石新八景の一つになぞらえています。釜石と内陸を結ぶ標高887メートルの歴史ある峠。新緑と紅葉のスポットにもなっていて、宮沢賢治の詩碑「峠」が設置されています。

ルート全体の魅力向上の取り組み

釜石鉄のみちネットワークによる「資源調査」



- ・橋野地区25名参加 (H21. 7. 5)
- ・大橋地区16名参加 (H21. 7. 26)

地域活性化を目指して意見交換



釜石市役所にて、釜石鉄のみちネットワークと地域住民の方々との20名による意見交換会 (H21. 9. 28)

市民による資源調査「釜石・橋野史跡ウォーキング」



38名が参加して資源調査ウォーキング。市民の皆さんと共に地域資源を検証しました。(H21. 12. 5)

十和田奥入瀬浪漫街道

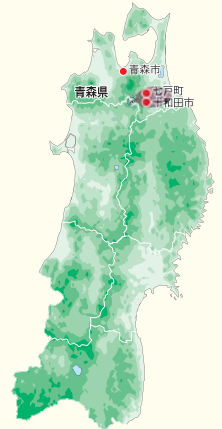
日本風景街道

東北一第18号

■ ルート概要

十和田奥入瀬浪漫街道は、新幹線七戸十和田駅を起点として国道4号、45号、102号、394号を含む総延長約120kmのルートです。

このエリアは自然景観の豊かな所で、十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田連峰などの自然資源と十和田市新渡戸記念館や十和田市現代美術館などの歴史・文化資源があります。また、ルートのビューポイントの選定・整備や美しい道づくりのために草花の植栽活動を展開し、誰もが風景の美しさに感動するルートづくりを目指しています。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

観る 十和田湖・奥入瀬溪流



十和田湖・奥入瀬溪流は日本を代表する景勝地で、四季折々の美しい景色を楽しめます。

観る 八甲田連峰の眺望



日本百名山の一つで、映画や小説で有名な八甲田山は北八甲田と南八甲田の連山の総称。雄大なパノラマ景観は絶景です。

遊ぶ 館野公園

住所：青森県六戸町犬落瀬柴山
問い合わせ先：TEL 0176-55-3111【六戸町観光協会】



山桜の自然公園として知られており、毎月4月下旬になると公園内にある2,000本の山桜が咲きます。



体験 下田鮭まつり 鮭つかみ取り



奥入瀬川河川敷で毎年11月第2土・日開催。約2,000匹の鮭を仮設の水槽に放流してのつかみ取りは大変な人気です。

魅力向上の取り組み

ボランティアガイド



ガイド養成をしてボランティアガイドウォークをしています。

観る 日本一のブナの木



幹周り6.01m、樹高30.2m、推定樹齢400年の木で「森の神」とも呼ばれています。この木は、幹の途中から3本に分かれていることから神聖視され、伐採されずに残ったと思われます。

学習 十和田市現代美術館

住所：青森県十和田市西二番町10-9
問い合わせ先：TEL 0176-20-1127



十和田市官庁街通りにあり、全体をひとつの美術館にみたてた拠点施設で、アートが街に自然と溶け込んだ風景を作り出す美術館。

【写真はLED30万個のイルミネーション】

遊ぶ つつじまつり

住所：青森県七戸町字天王12-1
問い合わせ先：TEL 0176-51-6100【七戸町商工観光課】



天王神社で毎年5月中旬～下旬に開催されます。約500本のつつじが境内に咲き誇り、夜はライトアップが施され幻想的な空間を作り出します。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 国道沿いに植物栽培



【コスモス】



【ひまわり】



【菜の花】

● 「日本風景街道 東北新幹線全線開業記念フォーラム」 「道から発信！魅地の上北」



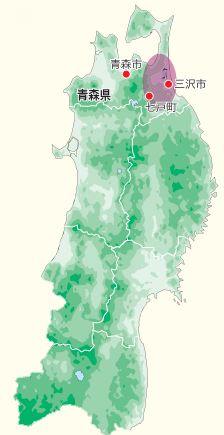
パネルディスカッションでは、東北新幹線の開業効果、風景街道の地域資源で特に磨きをかけていること、観光客等への情報発信について意見交換が行われました。

▲「十和田奥入瀬浪漫街道」、「奥州街道と縄文のみち」、「黄花紅の東むつ湾ルート」の3ルートの連携で開催されました。【平成23年3月4日開催】

奥州街道と縄文のみち

日本風景街道

東北一第19号



■ ルート概要

このルートは、七戸町のJR東北新幹線七戸十和田駅を起点とし国道4号の奥州街道松並木を観ながらアウトドア・スポーツが楽しめ、しじみ・ワカサギ・シラウオ漁で有名な「宝沼」小川原湖周辺の縄文遺跡群へ、その鏡のような湖面を観ながらラムサール条約登録湿地仏沼へ、そしてサーファーを虜にし、ミス・ビートル号の発進地でもある太平洋を眺めながら国道338号で北上、ダイナミックな風車群・数多くの沼が美しい六ヶ所村へと至る上北地域を代表するルートとなっている。

ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

古を体験 奥州街道 蒼前平一里塚(七戸町)



奥州街道の名残として2か所の一里塚が町内に現存しており、県史跡として保存されている。

古を体験 ニツ森貝塚史跡公園(七戸町)

住所：青森県上北郡七戸町大字榎林字貝塚家ノ前4-3
問い合わせ先：TEL 0176-62-9702



縄文時代前・中期の遺跡で、貝層のみでも約5,000mを超える広大な規模で東北地方でも有数の広さを持つ。



学ぶ・体験する 小川原湖・仏沼



「宝沼」と称される小川原湖とラムサール登録湿地仏沼から見る八甲田連峰

体験する 寺山修司記念館(三沢市)

住所：青森県三沢市大字三沢字湊代平116-2955
問い合わせ先：TEL 0176-59-3434



昭和の奇才・寺山修司の軌跡をたどる記念館として三沢市に開設。多方面に才能を発揮した寺山ワールドを感じ取れます。

冒険と夢 太平洋無着陸横断飛行の地(三沢市)



昭和6年世界初の偉業、太平洋無着陸横断飛行を成功させたミス・ビートル号が飛び立った場所。

体験する 物見崎海岸(六ヶ所村)



泊の海岸には、海の浸食が創り出した奇岩が多くみられ、これはタタミ岩と称される海岸。

体感する 風車群(六ヶ所村)



むつ湾から太平洋に抜ける西風・北風の強い地域で、のどかな田園風景と風車のコントラストが美しい。

ルート全体の魅力向上の取り組み

● 六ヶ所村 物見崎海岸における泊中学校との清掃活動



● 奥州街道バスツアーの開催(あomorikaiどう会議との連携)



● 「日本風景街道 東北新幹線全線開業記念フォーラム」 「道から発信！魅地の北上」

▼「十和田奥入瀬浪漫街道」、「奥州街道と縄文のみち」、「黄花草の東むつ湾ルート」の3ルートの連携で開催されました。
【平成23年3月4日開催】



パネルディスカッションでは、東北新幹線の開業効果、風景街道の地域資源で特に磨きをかけていること、観光客等への情報発信について意見交換が行われました。

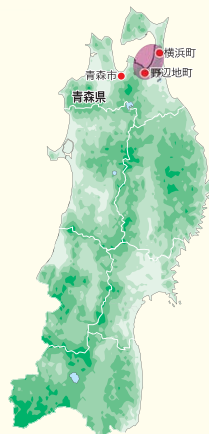
おう か くない 黄花紅の東むつ湾ルート

日本風景街道

東北一第20号

■ ルート概要

北前船の文化を残す野辺地町を起点とし、美しい農村風景の広がる横浜町に至るルートです。下北半島の付け根に当たる国道279号は、ホタテ養殖・なまこ漁などの漁業が盛んで風光明媚な陸奥湾を望み、自生するハマナスや日本有数の作付面積を持つ菜の花など、自然美と農漁村風景にあふれたルートです。海の幸・山の幸にも恵まれる食材の宝庫であり、自然を中心とした体験プログラムをはじめ、ゆっくりと散策するだけでも訪れる人々の心を和ませ癒しのルートです。



ルート沿線の地域資源と魅力を向上させるための取り組み

学ぶ 常夜燈



1827年に、野辺地の廻船問屋野村治三郎が、建てたと言われ、国内に現存する中で最も古い。現在は野辺地の浜町にあり案内の看板が設置されている。

学ぶ 八幡神社



江戸時代から、獅子舞、神楽が伝わる八幡神社には18枚の能面が保存され、8月には例大祭が行われる。

観る 旧野村家住宅離れ(行在所)

住所：青森県上北郡野辺地町字野辺地123-1
問い合わせ先：TEL 017-734-9919【青森県文化財保護課】



明治9年7月と明治14年8月に明治天皇御巡幸の際に宿泊された行在所で、国の登録有形文化財に指定されている。現在、保全や修復のための募金活動やイベントを行っている。

遊ぶ 菜の花フェスティバル

問い合わせ先：TEL 0175-78-2111【横浜町産業建設課】



毎年5月第3日曜日開催。期間中は菜の花大迷路・菜の花マラソン・ヘリコプター遊覧飛行・コンサートといったイベントがある。

学ぶ 日本最古の防雪原林



野辺地駅の西側2kmにわたって続く約700本の杉林で、線路を守るため明治26年に植林された。日本初の防雪林で、鉄道記念物にも指定されている。

魅力向上の取り組み

- 7月子供達と菜種打ち作業
- 9月子供達と菜種まき作業



観る 大豆田ゆとりの駐車帯



国道279号沿いにありトイレ・駐車場が備わっている他、ハマナスの花壇が設置されている。近くには東屋の休憩所とベンチがあり、陸奥湾を一望できる

ルート全体の魅力向上の取り組み

- 「日本風景街道 東北新幹線全線開業記念フォーラム」



「道から発信！ 魅地の上北」

パネルディスカッションでは、東北新幹線の開業効果、風景街道の地域資源で特に磨きをかけていること、観光客等への情報発信について意見交換が行われました。

▲「十和田奥入瀬浪漫街道」、「奥州街道と縄文のみち」、「黄花紅の東むつ湾ルート」の3ルートの連携で開催されました。【平成23年3月4日開催】